

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	盛岡ひまわり学園		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		～ 2025年3月4日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	今現在は、ひまわり学園から転園した児童が利用しているため、保護者との連携や児童の背景、状況把握がしやすい。	保護者との関係性がとれているため、必要に応じて連絡を取り合ったり、報告書で伝えきれなかったことの様子や変化などをお伝えし、情報共有をしています。	今まで通り保護者との連携を図りながら、転園先での取り組みの様子や変化を丁寧に伝えていきます。
2	相談支援専門員が同じ建物内に在中しており、情報共有が図られています。	訪問支援員、相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、また、児童に関係する職員との間で意見交換や情報共有をしています。	定期的にも職種との意見交換を行いながら、多角的な見方に基づく支援方法を検討していく必要があると思います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業に関する周知不足。	保育所等訪問支援に関する情報を伝える機会が少ないことが挙げられます。	期末保護者会の全体会等で保護者へ周知したり、お便りなどを活用し保育所等訪問支援の内容について周知を図っていく。また、併せて、アンケートもとっていく必要があると思います。
2	訪問先との連絡や情報共有をより密に行っていくことが必要です。	訪問支援員は児童発達支援事業との兼務職員となっており、クラス担任として療育も行っているため、十分な時間の確保が難しいことが課題となっています。	訪問支援員をクラス担任以外で行えるような職員の配置が望ましいです。
3			